

◎小山台高校の歴史

	年 月 日	事 項
大 正	12. 1. 30	東京府荏原郡平塚村小山に東京府立第八中学校設立
	12. 4. 8	青山師範学校講堂（現学芸大学）で第一回の入学式を挙行 授業は荏原郡品川町の三木小学校の一部を借用して開始
	12. 9. 1	関東大震災起る。一年生全員無事
	13. 4. 1	東京府荏原郡平塚町小山（現在地）に建設中の新校舎の一部完成移転（運動場をはさんで目蒲線と平行している現在の旧館三階建て）
	15. 3. 20	校舎全部完成（旧館）
昭 和	2. 7. 1	プールを設置（現在のもの）
	3. 3. 8	第一回卒業式挙行
	18. 7. 1	都政施行により校名を東京都立第八中学校と改称
	22. 10. 21	隣接地を買収校地を拡張（現体育館所在地）
	23. 4. 1	学制改革により東京都立第八新制高等学校となる
	23. 9. 20	寒菊の葉に霜をおいたものを八枚組み合わせたものを新校章とする
	25. 1. 28	教育委員会規則により東京都立小山台高等学校と改称
	26. 5. 27	新校歌制定、発表会を開催
	30. 12. 23	体育館落成
	35. 5. 16	千葉県館山に臨海施設用地買収
	36. 4. 16	新校舎、便所、変電室完成
	37. 7. 23	山の家・鹿沢寮完成
	38. 4	生徒会部室完成
46. 4	現在にいたる	

◎本校歴代校長

初代	岡田 藤十郎 先生	五代	上原 好一 先生
二代	中島 嘉之吉 先生	六代	木村 武雄 先生
三代	岩本 実次郎 先生	七代	伊藤 太一郎 先生（現在）
四代	斎藤 清 先生		

◎一年関係の先生

クラス	氏 名	担当教科	所 在
A	鈴木 亨	生 物	生物職員室（223）
B	細田 健次	英 語	大職員室（118）
C	阿部 修二	保健体育	体育職員室（123）
D	斎藤 昉	数 学	数学職員室（211）
E	岡野 尚起	倫 社	社会科職員室（200）
F	川端 一男	英 語	大職員室（118）
G	多胡 忠治	地 学	生物職員室（223）
H	落合 光禎	国 語	大職員室（118）
係	安藤 千鶴子	国 語	大職員室（118）
係	奥野 一雄	数 学	数学職員室（211）
係	竹内 淳博	数 学	数学職員室（211）
係	宮田 時雄	地 理	社会科職員室（200）

④教科等習の諸規定

1. 単位と指導時間

- ① 単位 毎週1時間(50分授業)の授業を1年間(35週以上)履修するとき、この授業を1単位とする。
- ② 授業時間の配分 (木曜日6時限はホーム・ルーム)
月曜～金曜 --- 6時間, 土曜 --- 4時間, 週授業時間計 --- 34時間
- ③ 授業時間 1年を通じて同じ

時限	時刻
1	8.30 ~ 9.20
2	9.30 ~ 10.20
3	10.30 ~ 11.20
4	11.30 ~ 12.20
5	1.10 ~ 2.00
6	2.10 ~ 3.00

2. 教育課程

教科	学年 項目 科目	I		II		III			教科 列の 合計			
		単 位	(ク ラ ス)	単 位	(ク ラ ス)	P 単 位	(ク ラ ス)	R 単 位		(ク ラ ス)	Q 単 位	(ク ラ ス)
国 語	現代国語	3	(8)	2	(8)	3 (8)			P } Q } 17			
	古典乙I	3	(8)	3	(8)							
	古典乙II					3 (8)			R } 18			
社 会	倫理社会			2	(8)				P } R } 17			
	政治経済					2 (8)						
	日本史					4 (8)						
教 学	世界史B			4	(8)	1	(2)	1	(2)	Q } 16		
	地理B	4	(8)									
	数学I	6	(8)						P } Q } 18			
理 科	数学II B			6	(8)							
	数学III					6	(2)	3	(2)	6	(4)	R } 15
	物理B			3	(8)				P } R } 14			
	化学B			2	(8)	3 (8)						
保 健 体 育	生物	4	(8)						Q } 17			
	地理	2	(8)									
保 健 体 育	体育	男4 (6) 女2 (2)		3	(8)	2 (8)			男 11 女 9			
	保健			1	(8)	1 (8)						
芸 術	音楽	} 1	(4)	} 1	(6)	} *2 (2)			2 又は 4			
	美術		(4)		(2)							
	書道		(2)									
英 語 B		6	(8)	6	(8)	6 (8)			P・Q } 18			
						2 (2)			R } 20			
家 庭 一 般	女2 (2)					*2 (2)			2 又は 4			
計		33		33		33		33	33	99		

*印は何かを選択

- (注) 1. 一学年ほどの組も同じ科目と単位数である。ただし、男子は体育4、女子は体育2と家庭2。芸術科は音楽・美術・書道のうち一科目を選択する。
2. 二学年ほどの組も同じ科目と単位数の予定である。ただし、芸術科は音楽・美術のうち一科目を選択する予定である。
3. 三学年はコース別の予定である。

3. 単位の修得と進級・卒業

- ① 単位の修得---原則として、各科目の出席時数が授業時数の $\frac{2}{3}$ 以上あり、科目の目標に達したと認められた場合に、学校はその単位を認定し、生徒は単位を修得したことになる。
- ② 進級・卒業の認定---次の条件を満たし、かつ特別教育活動、学校行事などを履習したものは進級または卒業が認められる。
- (イ) 進級---一学年、二学年において学校で定めた科目を履習し、そのすべての単位(それぞれ33単位)を修得した場合、二学年、三学年にそれぞれ進級が認められる。
- (ロ) 卒業---三学年において学校で定められた科目を履習し、そのすべての単位(33単位)を修得した場合、卒業が認められる。

4. 評価と評定

① 定期考査 (5回)

第一学期中間考査	5月
期末考査	7月
第二学期中間考査	10月
期末考査	12月
第三学期期末考査	3月

各期考査の得点は各教科ごとに100点満点で示す。学年末(3月)の評定のみに5段階評価で評定する。

② ア・テスト

回数---一年、二年では2回(9月・1月)、三年では4回(6月・9月・11月・1月)行なう予定。

教科---実施教科は一年では国語・数学・英語の三教科、二年、三年では国語・社会・数学・理科・英語の五教科の予定。成績表は最高点、最低点、得点分布表、各自の素点および標準偏差による10段階表における段階を示す。

③ 学年末の評定

科目の目標に照らし、各テストの成績・レポート・学習態度・出欠状況などを総合して5・4・3・2・1の五段階に評定する。評定1のときは単位の修得は認めない。

- 5---特に高い程度に目標を達成しているもの。
- 4---高い程度に目標を達成しているもの。
- 3---おおむね目標を達成しているもの。
- 2---目標の達成が不十分なもの。
- 1---達成のいちじるしく不十分なもの。

◎その他の注意事項

1. 原則として弁当を待参すること。やむを得ない場合は下記のものを購入利用することができる。

① パン・牛乳

場 所 --- 2階中央ホール

販売時間 --- 授業のある日の3時間目の後の休み時間、昼休み（4時間の後の休み時間）

*パンは予約できる。

② うどん類

場 所 --- 食堂

販売時間 --- 授業のある日の昼休み（4時間の後の休み時間）

2. 書籍・文房具の販売 --- 弘進堂売店

3. 帽章・バッジ等定価表

男子帽章	1ヶ	90円
・ 耳章	〃	20〃
・ ボタン	1組	160〃
男・女バッジ	1ヶ	80〃
男・女座金	1枚	20〃

4. ◦ロッカー故障の際は → 岡野進先生（体育科職員室）

◦盗難・遺失物があった場合は → 多胡先生（生物科職員室）

(1階)
生徒部室
本部

(2階)
生徒部室

324
視聴覚
図書室
323
視準
322
321
生便

224
生物
223
生準
222
221
講堂
ステージ
311
音楽
312
養護部

(13階)

124
会議室
視聴覚
123
体育室
122
ロビー
生便

215
図書室
214
図取
213
定図書
212
家庭
ミシン
211
数学取

(2階)

308 307 306 305 304 303 302 301
生便

115
定取
114
定取
113
保健
112
印刷
111
事務
118
大職
117
校長室
116
応接室

208 207 206 205 204 203 202 201
生便

200
社会取

108 107
定理取
106 105 104 103
理取
102 101
生便

110
用務
管理
109
給食
倉庫
100
食堂
売店

玄関